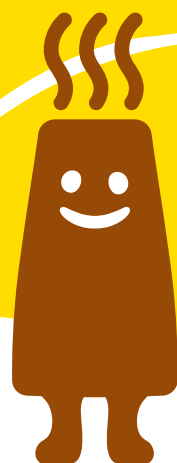




市民のチカラで、
地域のエネルギーを育てる時代へ。



再生可能エネルギー ファンド&共同出資 — 事例集 —



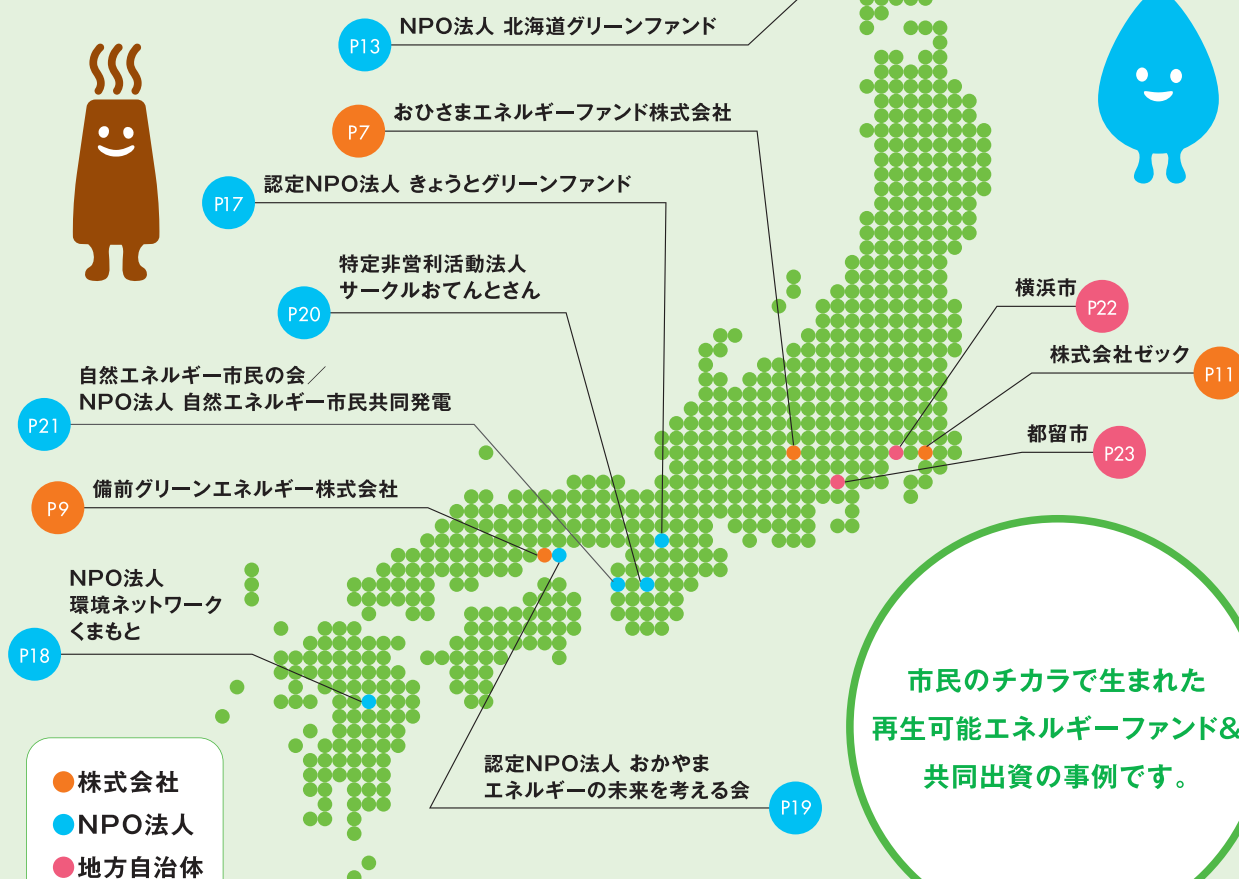
経済産業省
資源エネルギー庁

市民のチカラで、 地域のエネルギーをつくる「育エネ」。 日本全国に広がっています。

地球温暖化やエネルギー問題を解決するために。
いま、市民自らが出資や寄付をして発電施設をつくり、
「再生可能エネルギーを育てる取り組み」が、全国各地で広がっています。

太陽光や風力、水力などの身近な自然エネルギーを有効活用。
ひとつひとつの施設は小さくとも、
たくさんの施設が連携することによって、
地産地消のエネルギーを作り出すことができるのです。

地球と子どもたちの未来のために、
あなたも地域の「育エネ」に参加してみませんか。



市民のチカラで生まれた
再生可能エネルギーファンド&
共同出資の事例です。

ファンドや共同出資で再生可能エネルギー普及に 取り組む市民の声が集まっています。

活動報告が
送られてくるからか、
ファンド購入後の方が
環境問題への関心が
高まりました。



自然のめぐみを
電力に変え、
環境への負荷を減らす。
今、最も必要な
取り組みですね。

お金を使うことは
世の中に
意思表示をすること。
ファンドは納得できる
使い途でした。



投資をすることによって、
国や地域、
地球環境にも
貢献できる点が
何よりの魅力。



利益が出て配当金が出た時は嬉しかった。
寄付とはまた違った形の
喜びがあります。

「未来のために育エネ、はじめました！」
たくさんの市民の声が、集まりました。



安心して暮らせる
環境を次の世代へ。
そのための
第一歩として
投資をしました。



こうした取り組みが
全国で根付いていけば
素晴らしい。
ファンド設立の趣旨に
賛同します。

事業報告を見ながら、
今どんな貢献が
できているのかを
確認するのが
楽しみなんです。



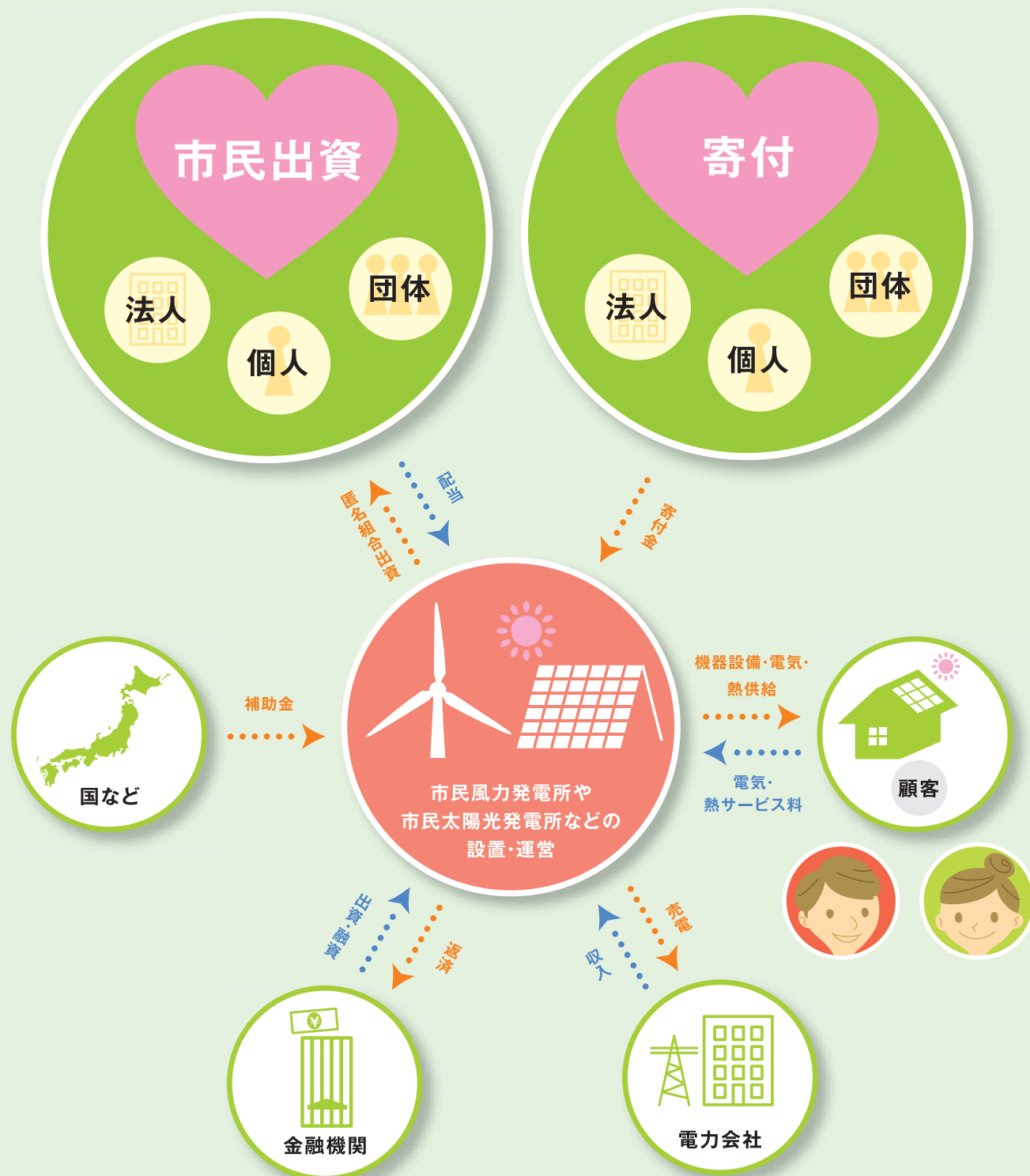
多くの気持ちと
お金が集まることで
具体的行動に移せる。
ファンドは有効な手段。

孫の名前で購入しました。
満期の時には孫も成人。
未来への楽しみが
1つ増えました。



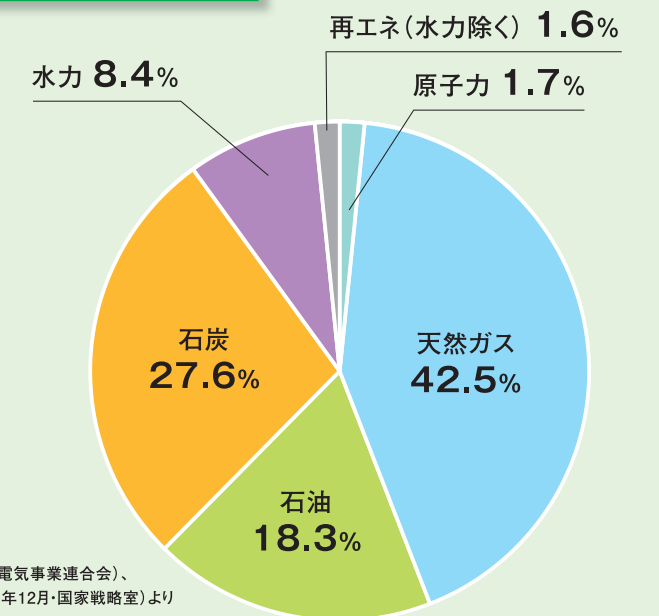
ファンド、寄付などの仕組み

「市民自らの手でエネルギーを創りたい!」という声の高まりとともに、各地に市民出資や寄付を募る市民ファンドが立ち上がっています。各運営会社やファンド業者の決済システムや運用の透明性、持続性、インセンティブなどを確認した上で、出資を決めることが重要です。



普段使っている電気は何から作られているの？ 日本の年間発電電力量の構成（2012年度）

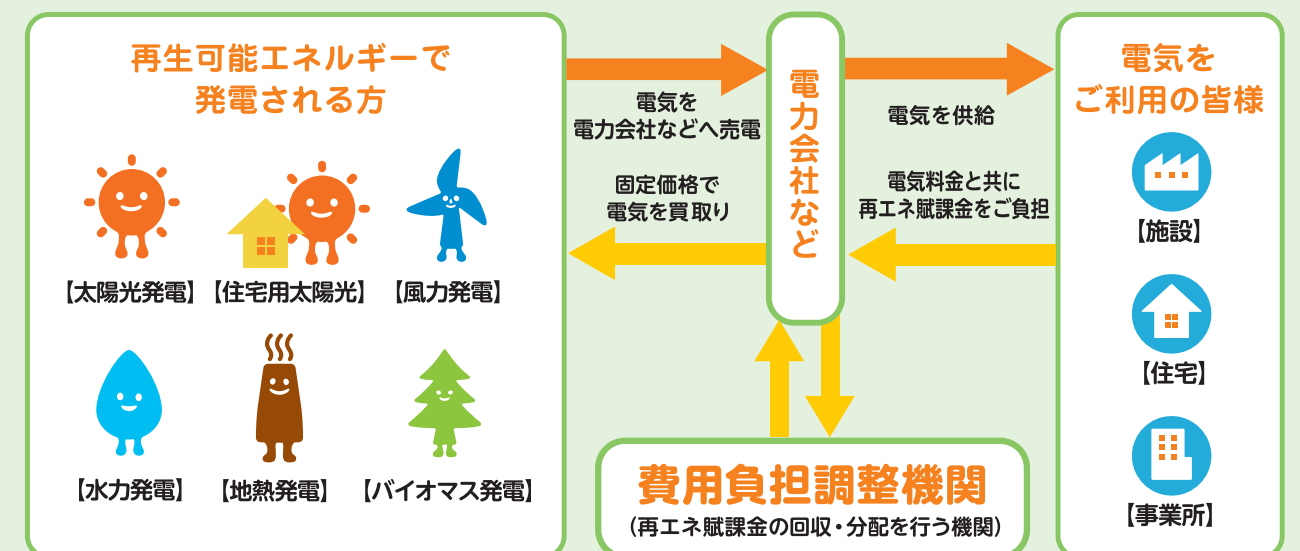
私たちの暮らしに欠かすことのできない電気。そのほとんどは、火力発電によって作られています。天然ガスや石炭から作る方が安かったためですが、ほぼ全て海外からの輸入。太陽光や風力など地球環境にも優しい再生可能エネルギーは、日本の中で作られる地産資源。何があっても大丈夫なように大切に育てていかなければなりません。



出所：電源別発電電力量構成比（電気事業連合会）、コスト等検証委員会報告書（平成23年12月・国家戦略室）より

市民ファンドも支えています！ 再生可能エネルギーの固定価格買取制度

再生可能エネルギーには、コストが高い、天候次第で出力が不安定といった弱みがあります。そこで、みんなで再生可能エネルギーを育てていこうとスタートしたのが「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」。電力会社による買取り資金を、ひと家庭あたり、毎月約120円ずつみんなで負担しあうことで、再生可能エネルギーにチャレンジする人たちを支えています。



代表的な再生可能エネルギー発電

太陽光、風力、水力、バイオマスに地熱。再生可能エネルギーにはいろいろな種類があります。資源の少ない日本のエネルギー自給率を高める、CO₂の排出が少ない、日本の未来を支える産業を育てるなど、大きなメリットがありますが、天候や地域の環境に左右されるため課題も様々。本当に地域の特色を活かした発電はどれなのか、投資や寄付をする前に考えてみましょう。



太陽光発電

太陽の光エネルギーを太陽電池で直接電気に換えるシステム。家庭用から大規模発電用まで導入は広がっています。発電した電気は、電力会社に売電することもできます。

メリット

- 一度設置するとメンテナンスがほぼ必要ない。
- 屋根など、限られたスペースでも設置可能。

課題

天候により発電出力が左右される。



風力発電

風の子カラで風車を回し、その回転運動を発電機に伝えて電気を起こします。ウインドファームのような大型のものから、学校などの公共施設に設置される小型のものもあります。

メリット

- 比較的発電コストが抑えられる。●風さえあれば、昼夜を問わず発電できる。●変換効率が低い。

課題

広い平地が必要。周辺環境との調和。



水力発電

水力発電はダムなどの落差を活用して水を落下させ、その際のエネルギーを用いて発電します。現在では農業用水路や小さな河川でも発電できる中小規模のタイプが注目されています。

メリット

- 安定した発電が可能。●発電時にCO₂を排出しない。
- 歴史的に水資源を活用するノウハウがある。

課題

他の河川利用者との調整が必要。



バイオマス発電

動植物などの生物資源（バイオマス）をエネルギー源にして電気や熱を作ります。建築廃材、農業残渣、食品廃棄物などに様々な処理をすることで、エネルギーに変換します。

メリット

- 資源の有効活用で廃棄物の削減に貢献。
- 天候などに左右されにくい。

課題

収集、運搬、管理にコストがかかる。



地熱発電

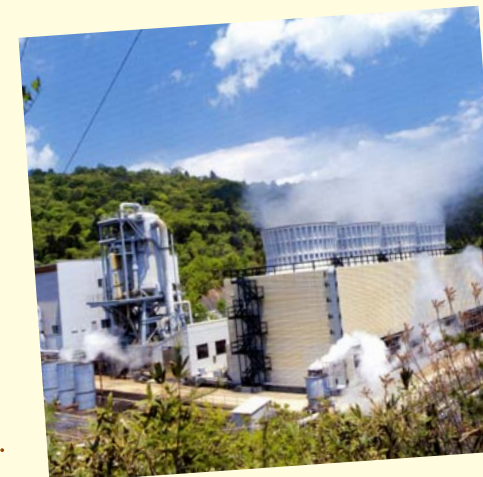
地下に蓄えられた地熱エネルギーを蒸気や熱水などで取り出し、タービンを回して発電します。使用した蒸気は水にして、還元井で地中深くに戻されます。火山国日本で豊富な資源があります。

メリット

- 昼夜を問わず24時間稼働。
- 高温の蒸気や熱水を再利用できる。

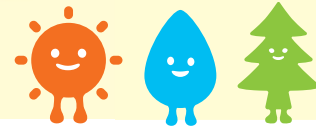
課題

温泉、公園施設などと重なるため、地元との調整が必要。



エネルギーの地産地消で、循環型の地域づくりを。

おひさまエネルギーファンド株式会社



成り立ち

民間企業として「NPO法人南信州おひさま進歩」が母体となり、設立されました。「おひさま進歩エネルギー(株)」とともに「おひさまグループ」として事業活動を行っており、主に自然エネルギー及び省エネルギー事業に係る匿名組合出資の募集、運営、管理など出資関連の事業を担っています。

活動内容

「おひさまファンド」を通じて、全国からの出資を募り、太陽光、風力、森林資源など地域のエネルギーを活用した自然エネルギー事業を実現しています。現在、運営中の6つのファンドもすべて順調に配当金を分配しており、温暖化防止と地産地消の循環型の地域づくりを推し進めています。また、自然エネルギーを利用した発電・発熱事業、省エネルギーに関する機器の導入販売およびリース、自然エネルギーの環境付加価値を証書化した「グリーン電力証書」等に関する販売及びコンサルティング等も行っています。

資金調達方法

行政からの
補助金・
助成金

民間金融機関
からの借入

市民ファンド

現在運用中のファンド

名称：南信州おひさまファンド
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 募集期間：2005年2月～2005年5月
 申込単位：10万円/1口、50万円/1口 出資総額：2億150万円(476名)
 運用期間：2005年～A号2015年3月31日、B号2020年3月31日
 目標年間分配利回り：2～3.3%

名称：温暖化防止おひさまファンド
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 募集期間：2007年11月～2008年12月
 申込単位：10万円/1口、50万円/1口 出資総額：4億3430万円(653名)
 運用期間：2007年～A号2018年3月31日、B号2023年3月31日
 目標年間分配利回り：2.1～2.6%

名称：おひさまファンド2009
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 募集期間：2009年6月～2009年9月
 申込単位：10万円/1口 50万円/1口 出資総額：7520万円(145名)
 運用期間：2009年～A号2024年3月31日、B号2014年3月31日
 目標年間分配利回り：1.1～2.5%

名称：信州・結いの国おひさまファンド
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 募集期間：2010年10月～2011年1月21日
 申込単位：10万円/1口、25万円/1口 出資総額：4790万円(103名)
 運用期間：2010年～A号2020年3月31日、B号2015年3月31日
 目標年間分配利回り：2～2.5%

名称：信州・結いの国おひさまファンドⅡ
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 募集期間：2011年10月～2012年1月
 申込単位：10万円/1口 出資総額：8100万円(138名)
 運用期間：2011年～2021年3月31日
 目標年間分配利回り：2%

地域：MEGAおひさまファンド
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 申込単位：10万円/1口、50万円/1口
 出資総額：3億3590万円(363名)
 運用期間：A号：2012年～2021年、B号：2012年～2032年
 目標年間分配利回り：2～3%+プレミアム配当

ファンド購入希望・
各種問い合わせ先

〒395-0044 長野県飯田市本町2-15 いとうや3F
 TEL:0265-56-3710 FAX:0265-56-3712 URL <http://www.ohisama-fund.jp>

導入した設備

太陽光発電

南信州を中心に公共施設・民間施設・個人宅向けに太陽光パネルを設置しており、2012年度末までに284ヶ所、2,600kWの規模となっている。

代表的な場所：1.明星保育園(飯田市内の私立保育園)合計15.58kW(NPO寄付型3kW+おひさまファンド2009にて12.58kW設置)2.県みつば保育園(飯田市立)10kW(南信州おひさまファンドにて設置)

バイオマス

チップボイラー

長野県下伊那郡大鹿村の赤石荘(温泉旅館)：200kW(温暖化防止おひさまファンドにて設置)

小水力発電

小早月川発電所

河川の水を貯めることなく、高低差と流量を利用して発電。2012年4月から営業運転を開始し、年間発電量は5464MWh(見込み)。(株)アルプス発電が営業者となり、立山アルプス小水力発電事業出資金と補助金により設置。

現在募集中のファンド

おひさまファンド7(SEVEN) 現在募集中

・1口10万円：2%、10年間

・1口50万円：2.5%+α、15年間+5年

詳しくはおひさまエネルギーファンド株式会社へお問合せ下さい。

出資者の声

最も惹かれたのは、投資をすることで国や地域に還元できる点。出資金の使われ方がはっきりしているし、事業報告や通信を見ながら、今、どんな貢献ができていのかを確認するのも楽しいですね。



実際に利益が出て配当金が出た時は嬉しかったですよ。寄付とはまた違った形で、楽しみながら利益を上げながら環境に貢献できる。こうした取り組みが全国に広がり、日本中で根付いていけば素晴らしいと思います。



エネルギーづくりから、環境にやさしい街づくりへ。

備前グリーンエネルギー株式会社



成り立ち

備前市は環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」を実施するモデル地域の一つとして選ばれました。この事業を実施するために市民・行政・事業者のパートナーシップにより発足した任意団体「備前みどりのまほろば協議会」の事業会社として設立されたのが備前グリーンエネルギー株式会社です。「持続可能な地域社会を目指して、環境に優しいエネルギーでまちづくりを進める」という理念を市民参加のもとに推進しています。

活動内容

省エネサービスや自然エネルギー導入による地球温暖化防止の推進、廃棄物の有効活用等、事業所におけるゼロエミッション実現に向けた取り組みへのコンサルティング事業を行っています。また市民からの出資を募り、太陽光発電所の設立、バイオマス・省エネルギー等の自然エネルギー・省エネルギー事業への投資も行っています。過去に2度の市民ファンドを活用し、自然エネルギー事業を行ってきました。

資金調達方法

行政からの
補助金・
助成金

市民ファンド

現在運用中のファンド

名称：備前みどりのエネルギーファンド
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 募集期間：2006年3月～2006年5月
 申込単位：10万円/1口、50万円/1口
 出資総額：1億8800万円(396名)
 運用期間：2006年～2023年(予定)
 目標年間分配利回り：2.1～2.6%

名称：温暖化防止おひさまファンド
 (長野県、岡山県、北海道という全国3拠点での自然エネルギー事業及び省エネルギー事業への出資を募集)
 営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
 募集期間：2007年11月～2008年12月
 申込単位：10万円/1口、50万円/1口
 出資総額：4億3430万円(653名)
 運用期間：2007年～A号2018年3月31日、B号2023年3月31日
 目標年間分配利回り：2.1～2.6%

出資者の声

出資という形で環境に貢献できることはとても嬉しいことです。一人ひとりができることは限られているけれど、こうして多くの人の気持ちとお金が集まることで具体的な行動に移せるのですから。



子育てが終わり孫が生まれたことをきっかけに、環境への意識が以前より高くなりました。四季を感じ、ゆったりとしたときの中で生活したい。そう思うのは誰もが共通したことだと思います。安心、安全な生活の子供たちへ、孫たちへ。



ファンドによって実現したプロジェクト

2005年からスタートした「備前みどりのエネルギーファンドプロジェクト」は、主として、木質バイオマスの利用を推進する事業が進められています。

【グリーン熱サービス事業】

木質バイオマスを活用した自然エネルギー設備による熱供給を促進しています。地域の企業や病・医院、フルーツパークびぜん(体験型農業公園)等に薪ストーブ、ペレットストーブを導入しました。

【省エネルギー事業】

公共・民間施設を対象に、省エネルギー実施のための計画策定、それに基づく省エネルギー設備の導入、維持管理を行っています。備前市役所(本庁舎・日生総合支所・吉永総合支所の3施設)、特別養護老人ホーム亀楽荘の断熱・空調・給湯システムの改修を行いました。

備前みどりのエネルギーファンドプロジェクト		
事業名	グリーン熱サービス事業	省エネルギー事業
目的と内容	主として、木質バイオマスを活用した自然エネルギー設備(薪ストーブ、ペレットストーブ)による熱の供給	公共・民間施設を対象省エネルギー実施のための計画策定、それに基づく省エネルギー設備の導入と維持管理
事業費(予定)	1,000万円	2億7,000万円
総事業費(予定)	合計2億8,000万円	
備前みどりのエネルギーファンド投入額(予定)	1億9,000万円	
補助金(予定)	平成17年度選定(平成17年、平成18年、平成19年の3カ年事業)環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」交付金 9,000万円	
事業期間	2006年～2023年(予定)	
事業の契約先	岡山県備前市内の公共施設、民間施設、住宅	

各種問い合わせ先

〒709-0224 岡山県備前市吉永町吉永中885 TEL 0869-84-9500 FAX 0869-84-2332
 E-mail info01@bizen-greenenergy.co.jp URL <http://www.bizen-greenenergy.co.jp/>

大規模太陽光発電所を、もっと日本に。

太陽光分譲ファンド／株式会社ゼック



成り立ち

再生可能エネルギー全量買取制度を利用し、すべての国民が再生可能エネルギーの普及に貢献できると同時に経済的メリットを享受できる太陽光発電ファンド商品を開発する、それを目標に掲げスタートしました。市民出資による太陽光発電所の建設～売電を目的としたファンドの組成、匿名組合出資の募集、設備の運営・維持管理を自らの任務とし、全国に数多くの発電所を作っていくことで、日本における再生可能エネルギーの拡大に貢献していくことがミッションであると考えています。

活動内容

再生可能エネルギー全量買取制度活用を前提とした大規模太陽光発電所を開発、一般市民から出資をいただくことで、再生可能エネルギーの普及促進、地域への資金還流を実現しています。具体的には日射良好な土地を探すところから始まり、地元遊休地所有者様と契約、出資募集、建設、発電所運営という段取りになります。現在運用中の2つのファンドによる発電所はすべて市民出資で賄われ、3号ファンドは現在最終調整中で、今後は日本各地に拡大していく予定です。設置する地域で説明会を行い、日本のエネルギー事情や地域に再生可能エネルギーを導入する意義などを丁寧にご説明しています。

資金調達方法

行政からの
補助金・
助成金

市民ファンド

現在運用中のファンド

名称：鹿島灘1号太陽光分譲ファンド／営業者：合同会社ゼロエネ1号
募集期間：2013年2月～2013年4月(完売)／申込単位：50万円/1口
出資総額：7050万円(55名)／運用機関：2013年7月1日～2033年6月30日／目標内部収益率：6.05%

名称：鹿島灘2号太陽光分譲ファンド／営業者：合同会社ゼロエネ2号
募集期間：2013年5月～2013年8月(完売)／申込単位：50万円/1口
出資総額：7050万円(42名)／運用機関：2013年10月1日～2033年9月30日／目標内部収益率：6.04%

現在募集中のファンド

(募集取扱：株式会社ゼック/
第二種金融商品取引業者関東財務局長(金商)1795号)
今年度は10～11月募集開始予定です。その後も1年間に2メガワットを目安として募集を行っていきます。

出資者の声

投資はリターンも大事ですが、そのアクションによって未来を作り出すものでなければ、私にとってあまり大きな意味を持ちません。今ある精一杯のお金で応援します!!(30代 女性)



無理なく社会貢献、電力構成改善につなげられる機会を頂きありがとうございます。20年の長期にわたる設置・維持は大変だと思いますが、期待しております。プロジェクトの成功を祈念いたします。(40代 男性)



年金的に利益が受け取れる投資で、再生可能エネルギー普及に少しでも貢献できるので、出資を決意しました。(40代 女性)



日頃より自然エネルギーに関心を持っている。自宅にも二年前パネルを設置、現在パネル代返済中。もっと周囲の人達もエネルギーに関心を持ってほしいです。(50代 女性)



鹿島灘1号太陽光発電所現地見学会の様子



鹿島灘2号太陽光分譲ファンドにより建設中の発電所

ファンド購入希望・
各種問い合わせ先

株式会社ゼック／ZERO ENERGY COMPANY inc. 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目7番1号 TOKYU REIT八丁堀ビル
TEL 03-6280-3878 FAX 03-6280-3879 email : contact@zecj.jp ホームページ <http://zecj.jp/>

風力発電から生まれるエネルギーを、日本全国へ。

NPO法人 北海道グリーンファンド



成り立ち

便利で快適な暮らしを続けながらも「このままで大丈夫だろうか」「何か自分にできることはないか」、そんな思いを抱いている人も少なくありません。北海道グリーンファンドはこうした状況を何とか変えていきたいという思いから立ち上げたNPO。「市民の手によるエネルギーづくりの実践」を掲げ、独自の「グリーン電気料金制度」や「市民共同発電所事業（市民風車）」などに取り組んでいます。

活動内容

「グリーン電気料金制度」で積み立てた基金と市民からの出資で「市民風車」を建設。2001年に1号機となる「はまかぜちゃん」の建設以来、全国各地の市民グループと提携を図り、北海道、青森県、秋田県、石川県、茨城県、千葉県に14機の市民風車を導入しました。

資金調達方法

寄付

行政からの
補助金・
助成金

民間金融機関
からの借入

市民ファンド

出資者の声

孫の名前で契約しました。このファンドは15年と契約期間が長期ですが、満期となる頃に孫はちょうど成人式を迎えます。それまでじつくりと、環境に貢献しながら投資をしていきたいですね。



投資をするのはこれが初めてですが、お金を使うことは世の中を変えることにつながるのだと改めて感じています。一人の力では何もできませんが、こうして環境を守ることに貢献できるのは嬉しいことです。



市民風車とは？

寄付に加えて市民出資という形で建設費用をまかない、市民が主体となって実現させる風力発電設備。NPOでは出資を取扱えないため、別途事業会社をつくりファンドを募集します。拠出した資金が誰によって何に使われるのかという透明性があることと、市民が自らエネルギーを

つくるという夢への投資という側面から大きな関心を集め、第1号機となる「はまかぜちゃん」は、市民からの出資金に自己資金を合わせた約1億6600万円と銀行からの融資によって建設されました。

「グリーン電気料金制度」とは？

グリーン電気料金制度は北海道グリーンファンドの立ち上げと同時にじまりました。月々の電気料金に5%を加えた額を支払い（事業所会員は1%以上の任意の料率で支払い）「市民共同発電所」実現のための基金として積み立て、運用する制度で、1ヶ月の電気料金が8000円だとしたら、400円がグリーンファンド分です。5%分をさらに

負担するという考えではなく、省エネ、節電によって電気代を5%浮かせて、その分を基金にしようと呼びかけています。北海道に居住する人以外でも参加でき、その場合は年間定額1口5000円（団体法人は1口10000円）での寄付が可能です。

各種問い合わせ先

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目岩倉ビル3階
TEL 011-280-1870 FAX 011-280-1871 E-mail office@h-greenfund.jp URL <http://www.h-greenfund.jp/>



「はまかぜ」ちゃん

設備名称：市民風力発電所・浜頓別
エネルギーの種別：風力
設置場所：北海道浜頓別町
導入機器メーカー：Siemens(BONUS)
定格出力：990kW 1基
稼働開始：2001年9月
総事業費：約2億円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：
市民風力発電所・浜頓別1号機匿名組合
営業者：(株)浜頓別市民風力発電
募集期間：2000年12月～2001年7月
申込単位：1口50万円
契約総額：1億4150万円
運用期間：2001年9月10日～2019年3月31日
目標年間利回り：2.5%



市民風車わんず

設備名称：あおもり市民風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：青森県鯉ヶ沢町
導入機器メーカー：GE Wind Energy社
定格出力：1500kW 1基
稼働開始：2003年2月
総事業費：約3億8千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：
市民風力発電所・青森1号機匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2003年3月3日～2003年9月16日
申込単位：1口10万円※原則1名様(法人含む)10口まで
契約総額：5820万円
運用期間：契約締結日～2012年2月29日にて終了
目標年間利回り：1.5%



天風丸(てんぶうまる)

設備名称：天王市民風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：秋田県潟上市
導入機器メーカー：RE power Systems社
定格出力：1500kW 1基
稼働開始：2003年3月
総事業費：約3億7千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：
市民風力発電所・秋田1号機匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2003年3月3日～2003年9月16日
申込単位：1口10万円※原則1名様(法人含む)10口まで
契約総額：4180万円
運用期間：契約締結日～2013年3月31日まで
目標年間利回り：1.5%

かりんぼう

設備名称：いしかり市民風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：北海道石狩市
導入機器メーカー：Vestas Wind Systems社
定格出力：1650kW 1基
稼働開始：2005年2月
総事業費：約3億3千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンドいしかり市民
風力発電所匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2004年10月15日～2005年1月31日
申込単位：1口50万円(申込口数制限なし)
契約総額：2億3500万円
運用期間：契約締結日～2020年3月31日まで
目標年間利回り：2.4%

かぜるちゃん

設備名称：市民風力発電所・石狩
エネルギーの種別：風力
設置場所：北海道石狩市
導入機器メーカー：Vestas Wind Systems社
定格出力：1500kW 1基
稼働開始：2005年2月
総事業費：約3億3千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンド市民風力発電
所・石狩匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2004年10月15日～2005年1月31日
申込単位：1口50万円(申込口数制限なし)
契約総額：2億3500万円
運用期間：契約締結日～2020年3月31日まで
目標年間利回り：2.4%

「まぐるん」ちゃん

設備名称：大間市民風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：青森県大間町
導入機器メーカー：三菱重工業(株)
定格出力：1000kW 1基
稼働開始：2006年3月
総事業費：約2億5千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンド2006(大間・
秋田・波崎・海上)匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2005年11月25日～2006年2月14日
申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
契約総額：8億6000万円
運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
目標年間利回り：2.3%

※風こまち、竿太朗、かざみ、なみまるも同ファンドから出資



風こまち

設備名称：マリーナ市民風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：秋田県秋田市
導入機器メーカー：RE power Systems社
定格出力：1500kW 1基
稼働開始：2006年3月
総事業費：約3億3千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンド2006(大間・
秋田・波崎・海上)匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2005年11月25日～2006年2月14日
申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
契約総額：8億6000万円
運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、竿太朗、かざみ、なみまるも同ファンドから出資



竿太朗(かんたろう)

設備名称：向浜市民風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：秋田県秋田市
導入機器メーカー：Repower Systems社
定格出力：1500kW 1基
稼働開始：2006年3月
総事業費：約3億5千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンド2006(大間・
秋田・波崎・海上)匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2005年11月25日～2006年2月14日
申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
契約総額：8億6000万円
運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、風こまち、かざみ、なみまるも同ファンドから出資



かざみ

設備名称：うなかみ市民風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：千葉県旭市
導入機器メーカー：GE Wind Energy社
定格出力：1500kW 1基
稼働開始：2006年9月
総事業費：約3億4千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンド2006(大間・
秋田・波崎・海上)匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2005年11月25日～2006年2月14日
申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
契約総額：8億6000万円
運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、風こまち、竿太朗、なみまるも同ファンドから出資

なみまる

設備名称：波崎未来エネルギー風力発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：茨城県神栖市
導入機器メーカー：GE Wind Energy社
定格出力：1500kW 1基
稼働開始：2007年7月
総事業費：約3億5千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンド2006(大間・
秋田・波崎・海上)匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2005年11月25日～2006年2月14日
申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
契約総額：8億6000万円
運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、風こまち、竿太朗、かざみも同ファンドから出資



かなみちゃん

設備名称：市民風力石狩発電所
エネルギーの種別：風力
設置場所：北海道石狩市
導入機器メーカー：ALSTOM(Ecotecnia)
定格出力：1650kW 1基
稼働開始：2008年1月
総事業費：約4億2千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：
市民風車ファンド2008石狩匿名組合
営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2007年11月1日～2008年1月15日
申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
契約総額：1億3500万円
運用期間：2008年1月16日～2023年3月31日
目標年間利回り：2.3%



のとりん

設備名称：輪島コミュニティWindファーム
エネルギーの種別：風力
設置場所：石川県輪島市
導入機器メーカー：RE power Systems社
定格出力：1980kW 1基
稼働開始：2010年3月
総事業費：約5億3千万円
資金調達の方法：
市民ファンド、補助金、助成金等
ファンド名称：市民風車ファンド2010輪島
もんぜん匿名組合
営業者：株式会社輪島もんぜん
募集期間：2009年12月18日～2010年2月10日
申込単位：1口20万円
契約総額：9900万円
運用期間：2010年3月16日～2025年3月31日
目標年間利回り：2.3%



認定NPO法人 きょうとグリーンファンド



つくしおひさま発電所

成り立ち

子どもたちに健やかな地球を手渡すために。きょうとグリーンファンドは、省エネ型の暮らしと社会をめざしながら自然エネルギーを普及していく活動に取り組むNPO法人です。2000年の設立以来、「環境のために何かしたい」と考える人たちが、無理なく続けて参加できる仕組みづくりを続けています。

活動内容

市民や団体が少しずつ節電・省エネ分程度の額を寄付し、「おひさま基金」として積み立てていきます。その基金を活かして市民参加の発電所「自然エネルギーおひさま発電所」を17機導入してきました。補助金申請を含めた資金計画、広報、寄付金取りまとめ、設置工事業者との折衝など設立までのサポートはもちろん、その後、施設が地域の環境学習の拠点、エコ施設となるよう継続的にサポートを続けていきます。

資金調達方法

きょうとグリーンファンドおひさま基金

設置協力金

寄付

導入した設備

設置場所は保育園や共同作業所など公共的な施設が中心で、公募により選定。完成を祝う点灯式を迎えるまで約1年、設置先の施設と協議しながらプロジェクトを進めています。完成後も環境学習イベントなど、次世代に豊かな地球環境を手渡す取り組みを行っています。



かがやきおひさま発電所



城陽市立久世保育園おひさま発電所

名称：つくしおひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：昭和シェルソーラー／定格出力：4.48kW／稼働開始：2008年2月／総事業費：820万円／資金調達の方法：補助金(国)50%、補助金(民間)11%、寄付9%、施設資金12%、きょうとグリーンファンド基金18%

名称：かがやきおひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：三洋電機／定格出力：10.75kW／稼働開始：2006年12月／総事業費：1043万円／資金調達の方法：補助金(国)36%、補助金(民間)13%、寄付4%、施設資金32%、きょうとグリーンファンド基金15%

名称：田歌舎おひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：京都府南丹市美山町／導入機器メーカー：ソーラーフロンティア／定格出力：10.05kW／稼働開始：2012年10月／総事業費：490万円／資金調達の方法：補助金(民間)7%、寄付8%、設置協力金47%、施設資金29%、きょうとグリーンファンド基金9%

名称：あけぼのおひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：神戸製鋼／定格出力：5kW／稼働開始：2002年2月／総事業費：560万円／資金調達の方法：補助金(国)44%、寄付43%、施設資金6%、きょうとグリーンファンド基金7%

名称：城陽市立久世保育園おひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：京都府城陽市／導入機器メーカー：ソーラーフロンティア／定格出力：10.39kW
稼働開始：2013年8月／総事業費：595万円／資金調達の方法：寄付17%、設置協力金25%、施設資金50%、きょうとグリーンファンド基金8%

これまでに、17施設に太陽光発電設備を導入しています。

寄付者の声

「孫たちにツケを残さない生活を」が私のモットー。「次の時代はもっと自然エネルギーを」という思いを伝えるために、二人の子どもの名前で寄付します。太陽光パネルに子どもの名前が残るのもうれしいですね。(60代 男性)



寄付金を出すということは、自分の意思を表明することでもあると思います。こうしたプロジェクトがあることはとても有意義ですね。人々の意思表明の場を提供していることにもなるのですから。(40代 女性)



寄付・入会希望、
各種問い合わせ先

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町21事務機のウエダビル206(火曜日～金曜日:午後1時～5時)
TEL/FAX:075-352-9150 E-mail info@kyoto-gf.org URL http://www.kyoto-gf.org/

NPO法人 環境ネットワークくまもと



かんくまおひさまプロジェクト(4号機)

成り立ち

持続可能な農的暮らしと健康な地域社会を実現するため、1994年10月に結成されました。熊本県内外で環境保全活動に取り組む各団体・個人をゆるやかにネットワークし、情報交換や各団体の活動紹介を行って環境保全活動への市民の参加と支援を呼びかけるNPO団体です。

活動内容

地域の資源を活かした持続可能な自然エネルギーづくりに2004年から取り組み、これまで県内5か所で市民共同による太陽光発電所の設置事業を支援しました。また、講演会や自然体験型の学習会などの啓発活動を企画・実施し、NGO間や行政、企業とのパートナーシップも進めています。これらの活動を通して、市民による主体的な環境保全活動の拡大と、計画や政策の策定、実施、評価、見直しのすべての段階への市民参画のプロセスの確立を目指して活動しています。

資金調達方法

売電益

寄付

借入

行政からの補助金・助成金

導入した設備

保育園や病院、レストラン屋上などに太陽光パネルを設置しています。第4号機は石原修教授(尚絅大学:元熊本大学工学部)が実験で使用していたパネルをリユースした全国初「リユース太陽電池」の市民共同発電所。176枚のパネルを甦らせるため、小学生を含む市民ボランティアで作業を行い、実現させました。



かんくまおひさまプロジェクト(1号機)



かんくまおひさまプロジェクト(3号機)



かんくまおひさまプロジェクト(2号機)



かんくまおひさまプロジェクト(5号機)

名称：かんくまおひさまプロジェクト(1号機)／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：北部病院／定格出力：12kW／稼働開始：2004年4月／総事業費：1000万円／資金調達の方法：寄付(15%)、NEDO補助金、九州グリーンファンド電力基金、REPWグリーンファンド

名称：かんくまおひさまプロジェクト(2号機)／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：熊本YMCA水前寺幼稚園／定格出力：13kW／稼働開始：2007年1月／総事業費：850万円／資金調達の方法：寄付(6%)、NEDO補助金、かんくまファンド

名称：かんくまおひさまプロジェクト(3号機)／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：喜育園立山東保育園／導入機器メーカー：ホンダソルテック／定格出力：12kW
稼働開始：2010年3月／総事業費：900万円／資金調達の方法：寄付(3%)、NEDO補助金、九州グリーンファンド電力基金、かんくまファンド

名称：かんくまおひさまプロジェクト(4号機)／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：熊本県水俣・福田農場ワイナリー／導入機器メーカー：シャープ、京セラ(リユースパネル)／定格出力：8.5kW／稼働開始：2010年3月／総事業費：450万円／資金調達の方法：かんくま私募債・熊本県補助金

名称：かんくまおひさまプロジェクト(5号機)／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：熊本学園大学付属敬愛幼稚園／導入機器メーカー：三菱／定格出力：12kW／稼働開始：2012年3月／総事業費：750万円／資金調達の方法：熊本県補助金、家電・住宅エコポイント寄付、かんくまファンド(アサヒビール寄付金)

寄付者の声

病院や幼稚園といった生活に身近な場所に太陽光発電パネルが設置されて、注目されやすいのが良かったと思います。省エネへの取り組みが目に見える形となって人々の関心を集め、市民一人ひとりの意識を変えていければ、それこそ大きな成果です。



どういった使用方をしているのかが見えるから、寄付をする側にとってもやり甲斐がありますね。小さな額でも、そこに自分も参加しているのだと思えるのはとても気持ちがいいものです。



寄付・入会希望、
各種問い合わせ先

〒862-0973 熊本県熊本市中央区大江本町6-24
TEL/FAX 096-362-3776 E-mail home@kakuma.jp URL http://www.kankuma.jp

自治体と連携した、市民主導のエネルギー開発。

認定NPO法人 おかやまエネルギーの未来を考える会



成り立ち

2000年7月 主婦10名で発足した任意団体「エネルギーの未来を考える会」が前身。2002年に岡山市との協働で岡山市立保育園に太陽光発電システムによる市民共同発電所1基を設置したことを機にNPO法人の認証を取得、「おかやまエネルギーの未来を考える会」（会員数147名）に改称しました。

資金調達方法

寄付

行政からの補助金・助成金

民間からの補助金・助成金

その他:自己資金等

導入した設備

自治体と連携し、保育園や図書館など身近な施設に太陽光パネルを設置。発電相当分が交付金で還付される仕組みです。施設内には発電量を示す「表示器」が設けられ、現在の発電量や今日1日の発電量、二酸化炭素の削減量を分かりやすく表示し、環境への関心を喚起しています。

名称：中山おひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光
設置場所：岡山市立中山保育園／導入機器メーカー：三菱
定格出力：5.2kW／稼働開始：2002年9月／総事業費：540万円
資金調達の方法：補助金(国)48%、寄付金32%、自己資金20%

名称：にしきおひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光
設置場所：岡山市立錦保育園／導入機器メーカー：京セラ
定格出力：10.16kW／稼働開始：2007年11月／総事業費：720万円／資金調達の方法：国の補助金48%、寄付金30%、建設協力金(内部での借入金)22%

名称：福渡おひさま発電所／エネルギーの種類：太陽光
設置場所：岡山市立福渡保育園／導入機器メーカー：京セラ
定格出力：10.08kW／稼働開始：2010年12月／総事業費：650万円／資金調達の方法：補助金(国)46%、寄付23%、助成金(民間)7%、自己資金24%

活動内容

岡山市内の施設に市民共同発電所を5機設置(5号機を新たに設置)したほか、ベレットストーブ・太陽熱温水器の導入支援、照明のエコ化など直接的な二酸化炭素排出の削減を進めています。また、小学校への出前授業、大人向けの人材育成講座、エコツアー、講演会や環境イベントの企画・運営等々を行い、市民に向けての普及啓発事業に取り組んでいます。



中山おひさま発電所



にしきおひさま発電所



建部おひさま発電所

寄付者の声

地元こういう団体があるとは知りませんでした。なかなか時間が取れなくてボランティア活動をするのは難しいけれど、少しでもお役に立てればと思い、寄付をさせていただきました。



こんな活動こそが未来につながっていくのだと思います。自然のめぐみを電力に変えて、安心して暮らせる環境を守っていく。会の趣旨や活動内容に賛同します。微力ですが、これからも協力していきたいです。

寄付・入会希望、
各種問い合わせ先〒700-0807 岡山県岡山市北区南方1-6-7
TEL 086-232-0363 E-mail enemira@okayama.email.ne.jp URL <http://enemira.milkcafe.jp>

古都奈良に、最新の再生可能エネルギーを広げる。

特定非営利活動法人 サークルおてんとさん

(11月上旬認定予定)



あすなら苑おてんとさん発電所

成り立ち

化石燃料や原子力に頼らない自然エネルギーを、市民と力をあわせて普及させることを目的として、「ならこorp」の組合員をメンバーに結成した環境サークルです。2002年秋の設立以来、地球温暖化防止や自然エネルギー利用の学習・啓発活動、奈良県内に太陽光を利用した市民共同発電所を作るための活動をすすめています。

資金調達方法

行政からの補助金・助成金

寄付

導入した設備

特別養護老人ホーム、社会福祉施設、保育園に太陽光パネルを設置しました。施設訪問者にアピールしたり、広く見学希望も受け入れています。自然エネルギーに関する学習・啓発施設としての役割も担っており、社会福祉施設の発電所では、毎月の発電量のチェックを障がい者の方が行っています。

活動内容

サークルおてんとさんは、奈良県内に市民共同発電所を設置するために、他団体とも連携し情報収集を重ねながら具体化を進めてきました。現在まで3機の市民発電所を設置。温暖化防止に貢献しながら、自然エネルギーに対する啓発活動を行っています。

名称：あすなら苑おてんとさん発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：奈良県大和郡山市特別養護老人ホーム「あすなら苑」／導入機器メーカー：サンヨー／定格出力：20kW／稼働開始：2004年2月／総事業費：1,830万円／資金調達方法：助成金50%、寄付金50%

名称：ならのはおてんとさん発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：奈良県奈良市神功 社会福祉法人「ならのは」／導入機器メーカー：シャープ／定格出力：10kW／稼働開始：2007年2月／総事業費：630万円／資金調達方法：助成金50%、寄付金50%

名称：あすなら保育園おてんとさん発電所／エネルギーの種類：太陽光／設置場所：奈良県大和郡山市「あすなら保育園」／導入機器メーカー：ホンダ／定格出力：10kW／稼働開始：2011年1月／総事業費：813万円／資金調達方法：助成金53%、寄付金25%

寄付・入会希望、
各種問い合わせ先〒630-8101 奈良県奈良市青山5-2-11 TEL 080-3137-4595 FAX 0742-26-6206
E-mail otentosan02@yahoo.co.jp URL <http://www.geocities.jp/otentosan/>

再生可能エネルギーチカラで、地域をつなぐ。

自然エネルギー市民の会／ NPO法人 自然エネルギー市民共同発電



左側が福島県農民連の太陽光発電(100kW)、右側が福島県ようぜん市民共同発電所(50kW)

成り立ち

自然エネルギー市民の会は、風力、太陽光、バイオマス、小水力などの再生可能エネルギー利用を普及することによって地球温暖化をくい止め、原子力に頼らない持続可能な社会の実現を目指して2004年7月18日に設立。市民参加型の普及は地域社会の自立的発展にも寄与するという理念を掲げ、活動に努めています。

資金調達方法

寄付

行政からの補助金・助成金

その他:建設協力金など

信託会社からの融資※

※信託会社の「実績配当型合同運用指定金銭信託」で信託会社が市民から出資金を募り、信託会社から融資を受ける仕組み。

導入した設備

東大阪市の保育園の屋根、広島市の耕作放棄地、福島県の農地(雑種地)に太陽光パネルを設置しました。福島県では福島県農民連と協働して、売電収入の2%を毎年福島復興基金に積み立て、発電所回りの柵は間伐材を利用し農家の方に作ってもらい、など地域と連携してとりくみました。

名称: ポッポおひさま発電所／エネルギーの種類: 太陽光／設置場所: 大阪府東大阪市 ポッポ第二保育園
導入機器メーカー: 京セラ／定格出力: 10kW／稼働開始: 2006年3月／総事業費: 1200万円／資金調達方法: 補助金50%、寄付や建設協力金50%

名称: せのがわおひさま共同発電所／エネルギーの種類: 太陽光／設置場所: 広島市安芸区／導入機器メーカー: ソーラーフロンティア／定格出力: 30kW／稼働開始: 2013年5月／総事業費: 1200万円
資金調達方法: 組合員の出資100% ※個人6名とNPO法人自然エネルギー市民共同発電で有限責任事業組合を設立し、事業組合が事業主体となって設置、運営を行っている。

名称: 福島県ようぜん市民共同発電所／エネルギーの種類: 太陽光／設置場所: 福島県伊達市／導入機器メーカー: Qセルズ／定格出力: 50kW／稼働開始: 2013年9月／総事業費: 2000万円／資金調達方法: 民間ファンド利用100%

寄付・入会希望、
各種問い合わせ先

〒540-0026大阪府中央区内本町2-1-19-470
TEL 06-6910-6301 FAX 06-6910-6302 E-mail wind@parep.org URL <http://www.parep.org>

横浜のシンボルとして、市民に親しまれる風車に。

横浜市



横浜市風力発電所

事業概要

横浜市では、自然エネルギーの利用促進や地球温暖化対策に寄与し、市民一人ひとりが具体的行動を起こすきっかけとする事業として、風力発電事業を始めました。この事業は市債発行による市民の参加と「Y-グリーンパートナー」としての企業協賛により、市民、事業者、行政の3者が協働で市の環境行動のシンボリック事業として取り組んでいます。

導入した設備

平成19年3月、横浜港瑞穂ふ頭に横浜市風力発電所「ハマウィング」を建設しました。港の風景になじむよう、下から上へ、青色から白色へのグラデーションが美しいデザインです。なお、現地と臨港パーク(西区みなとみらい)には風速や発電量が一目でわかる発電表示板を設置しています。平成21年6月には、新エネルギー等利用の優れた取り組みを評価する「新エネ百選」にも選ばれました。

市債の内容

「ハマ債風車(かざぐるま)」は横浜で初めてとなる事業を特定した「住民参加型市場公募債」。環境に配慮した施設建設の資金調達のために発行するという趣旨から、通常の市債よりも低い金利水準に設定されていたにもかかわらず、多くの市民に支持され、購入されました。また、事業収入の一部(金利軽減分に相当する額)は緑化事業に活用されました。

●ハマ債風車

募集期間: 2007年2月5日～15日／運用期間: 2007年2月～2012年2月／申込単位: 1万円/1口(最高200万円)／利率: 1.18%／発行総額: 2億8000万円

名称: 横浜市風力発電所(愛称:ハマウィング)／エネルギーの種類: 風力／設置場所: 横浜市神奈川区鈴奈町8-1／導入機器メーカー: ヴェスタス社／定格出力: 1980kW
稼働開始: 2007年4月／総事業費: 5億2785万8千円／資金調達の方法: 助成金41.6%、ハマ債風車53%、その他5.4%

市担当者の声

「ハマ債風車」は、通常の市債よりも金利が低いにもかかわらず、環境への貢献を目的に購入される方が多く、市民の皆様の関心の高さを改めて実感しました。取扱金融機関の方のお話では、開店前から購入するために並んで

くださった方も多かったとのこと、わずか3日間で完売し、ハマウィング建設を実現させることができました。これからも市民の皆様の風車として、末永く応援していただきたいと思います。

各種問い合わせ先

〒231-0017 神奈川県横浜市中区港町1-1 横浜市環境創造局環境エネルギー課
TEL 045-671-2681 FAX 045-641-3490 E-mail ks-wind@city.yokohama.jp
URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/ondan/furyoku/>

水の豊かな街だからできるエネルギー開発を。

都留市



家中川小水力市民発電所「元気くん2号」

事業概要

周囲を美しい山々が囲み、市内には豊富な水量のある家中川が流れることから「水の谷（アクアバレー）」と呼ばれている都留市。「持続可能な定常社会」を目指し、小水力発電設備を設置しました。建設資金調達のため、都留市在住の市民に向けて市債を2回にわたって発行し、現在3つの小水力発電所が稼働しています。多くの市民に支えられたこれらの発電所は『家中川小水力市民発電所』と名づけられました。市役所周辺は「環境学習フィールド」と位置付けられ、小水力をきっかけに多くの人が都留市を訪れています。

導入した設備

イニシャルコストこそある程度かかるもののランニングコストはほとんどかからず、24時間稼働しつづけるという点で水力発電は高効率な発電方式です。元気くん1号は下掛け水車で、元気くん2号は高い落差を利用した上掛け水車。元気くん3号は少ない落差でも発電ができる螺旋水車です。それぞれの地形と特徴に応じて設置されており、1号機2号機3号機とも、隣接するエコハウスや植物工場に電力を供給しています。

市債の内容

都留市の住民参加型市場公募債（愛称「つるのおんがえし債」）は、小水力発電設備の建設費用調達を目的として発行された市債です。市民が投資家という立場で市の行財政運営に参加する側面もあり、当初の想定を大きく上回る申し込みがありました。利用可能なエネルギーとして期待されている小水力発電。市民参加型で普及啓発活動に取り組んでいます。

●第1回つるのおんがえし債

募集期間：2007年10月24日～28日／運用期間：5年／申込単位：10万円／口
目標年間分配利回り：0.9％／出資総額：1700万円

●第2回つるのおんがえし債

募集期間：2009年12月21日～25日／運用期間：5年／申込単位：10万円／口
目標年間分配利回り：0.6％／出資総額：2360万円



家中川小水力市民発電所「元気くん1号」



家中川小水力市民発電所「元気くん3号」

名称：家中川小水力市民発電所「元気くん1号」／エネルギーの種類：中小水力／設置場所：都留市内／導入機器メーカー：ハイドロワット社／定格出力：20kW／稼働開始：2006年4月／総事業費：約4300万円／資金調達の方法：市民ファンド35％、補助金39％、一般財源26％	名称：家中川小水力市民発電所「元気くん2号」／エネルギーの種類：中小水力／設置場所：都留市内／導入機器メーカー：ハイドロワット社／定格出力：19kW／稼働開始：2010年5月／総事業費：約6200万円／資金調達の方法：市民ファンド37％、補助金52％、一般財源11％	名称：家中川小水力市民発電所「元気くん3号」／エネルギーの種類：中小水力／設置場所：都留市内／導入機器メーカー：リハート社／定格出力：7.3kW／稼働開始：2012年3月／総事業費：約3000万円／資金調達の方法：補助金100％
---	---	--

市担当者の声

もともと水の豊かな地形ということもあり、以前から水力発電の市民研究グループが都留市内にありました。今回のプロジェクトは、市民グループの提案を政策の柱と位置付け、スタートしたもの。市債は都留市内にお住まいの方

のみを対象としていましたので、市民の研究を市民が応援する形になりました。地元環境保全への取り組みが目に見える成果となり、多くの方が観光や見学に訪れてくださるようになりました。

各種問い合わせ先

〒402-8501 山梨県都留市上谷1-1-1 都留市役所 TEL 0554-43-1111 FAX 0554-45-5005
【公募債について】政策形成課 E-mail seisaku@city.tsuru.lg.jp
【発電設備について】産業観光課 E-mail shoukougankou@city.tsuru.lg.jp
URL http://www.city.tsuru.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=2681

再生可能エネルギーファンド&共同出資に関する規則、リスク、注意点について

「金融商品取引法では、匿名組合などのファンドへの出資を募る者に対して、原則として登録又は届出を義務付けています。」

お問い合わせは、各財務局等まで。 <http://www.fsa.go.jp/common/shinsei/fund.html>

ファンド業者が守る必要のある規則

標識の提示義務（金商法第36条の2）

営業所・事務所ごとに、公衆の見やすい場所に標識を掲示します。

広告の規制（金商法第37条）①

金融商品取引業者であること及び登録番号などを広告に表示します。

広告の規制（金商法第37条）②

利益の見込みについて、著しく事実に相違する広告表示や、著しく人を誤認させるような広告表示は禁止されています。

広告の規制（金商法第37条）③

リスクについての情報は、最も大きな文字・数字と著しく異ならない大きさに広告に表示します。

契約締結前の書面交付義務（金商法第37条の3）①

金融商品取引業者であること及び登録番号などを契約締結前交付書面（目論見書、重要事項説明書）に記載します。

契約締結前の書面交付義務（金商法第37条の3）②

「損失が生ずることとなるおそれ」があるときは、そのことについて契約締結前交付書面（目論見書、重要事項説明書）に記載します。

契約締結時の書面交付義務（金商法第37条の4）

金融商品取引契約が成立したときは、遅滞なく書面を作成し、これを顧客に交付します。

各種禁止行為（金商法第38条）①

「虚偽のことを告げる行為」や「不確実な事項について断定的判断を提供して勧誘をする行為」は禁止されています。

各種禁止行為（金商法第38条）②

顧客に迷惑を覚えさせるような時間に電話又は訪問により勧誘をすること等は禁止されています。（金商法業府令第117条第1項第7号）

損失補てんの禁止（金商法第39条）

事前の損失補償の申込み・約束、事後の損失補てんの申込み・約束、財産上の利益の提供は禁止されています。

適合性の原則（金商法第40条）

顧客の知識・経験・財産の状況及び契約締結の目的に照らして不適当な勧誘を行い、投資者保護に欠けることのないようにします。

再生可能エネルギー発電のリスク

再生可能エネルギー発電の発電量は、日照時間や、風況、水量等の自然条件に左右されます。ファンド業を立ち上げる際は、事前調査を十分に行うことが重要です。

一般投資家のみなさまへの注意点

金融商品取引業の登録又は届出をせずにファンド募集を行っている業者からの勧誘に応じることのないようご注意ください。
金融庁HP 「免許・許可・登録を受けている業者一覧」 <http://www.fsa.go.jp/menkyo/menkyo.html>
「無登録で金融商品取引業を行う者の名称等について」 <http://www.fsa.go.jp/ordinary/chuui/mutouroku.html>

ファンド業者についての情報をできる限り収集し、信頼できる業者であるか否かを自ら判断していただくことが重要です。

契約締結前交付書面（目論見書、重要事項説明書）の説明をよく聞き、ファンド業者からの説明内容が理解できない状態での契約はなさないでください。



再生可能エネルギーを通して日本の未来を
創っていくプロジェクトがスタートしました。

日本をグリーンのかでうごかそう

Green power

私たちは、大切なことを人任せにしてきたのかもしれない。

暮らしを支えるエネルギーが、どこからやってくるのか、私たちはあまりにも無関心でした。

しかし、時代の空気はいま、確実に変わろうとしています。

変えていくのは、太陽や風、地熱などから生まれる無限に再生可能なエネルギー。

今はまだ、日本の発電電力量のわずか1%を占めるだけのこの小さなエネルギーには、

私たちの社会やライフスタイルをすっかり変えてしまうほどの大きなパワーが秘められています。

自分たちの手でエネルギーをつくりだす。

そこから地域の人々が支え合う暮らしが生まれる。

今までになかった新しい産業が芽吹き、育っていく。

忘れられていた“自然”と“暮らし”のつながりを取り戻す。

それは自分たちの暮らしを、自分たちの手で変えていく力。

これからの世代への大きな贈り物。

あなたが気づくことから、新しい日本の未来はうごきだします。

グリーンパワーという運動を一緒にひろげませんか。

『GREEN POWERプロジェクト』は、

発電体験のできるイベントや地域の再エネについて

学べるスクールを準備しています。ファンドを始める前に

再エネについて学びたい方は、ぜひご参加ください。

▼主なキーアクティビティのご紹介

エネママカフェ

GREEN POWER×ママ

概要 「自分のケータイの電気は自分で創ろう!」みんなで集まって、簡易型ソーラー充電器にデコレーションをするワークショップを通して、自分の手でGREEN POWERを作り出すきっかけを学びます。

URL <http://www.child-rin.com/lab/enemama/>

〈実施パートナー〉特定非営利活動法人チルドリン



わたしたち電力

GREEN POWER×地域コミュニティ

概要 自分たちの手で自然エネルギーからGREEN POWERを生み出してみたい、そして使ってみたい。太陽光パネルを組み立てるワークショップを通じた「自給自足電力」ムーブメントが様々な地域に広がります。

URL <http://wataden.org/>

〈実施パートナー〉特定非営利活動法人グリーンズ



まちエネ大学

GREEN POWER×地域コミュニティ

概要 地域の再生可能エネルギーや地域での自立した経済を促進するために、地域金融機関や自治体との連携により、ビジネスプロデューサーやコーディネーターが集結。短期ビジネススクールを開催し、プレゼンテーションイベントを通してグリーンビジネスの発掘を行います。

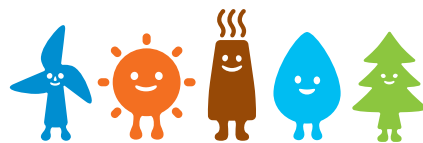
URL <http://www.greenpower.ws>

〈実施パートナー〉株式会社 TREE



その他各種プロジェクトを展開予定です。具体展開については、ポータルサイトにて順次お知らせしていきます。

<http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/gpp/index.html>



再生可能エネルギー導入促進についてのお問い合わせ窓口

経済産業省資源エネルギー庁 新エネルギー対策課 再生可能エネルギー推進室
〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番地1号

☎ 03-3501-1511 (代表)

なっとく！再生可能エネルギー <http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/index.html>

北海道

北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第一合同庁舎

☎ 011-709-2311
(内線2638)

青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー課
〒980-8403 仙台市青葉区本町3-3-1

☎ 022-221-4932
(直通)
☎ 022-221-4805
(相談窓口)

茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県

関東経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒330-9715 さいたま市中央区新都心1-1 合同庁舎1号館

☎ 048-600-0363

富山県・石川県・岐阜県・愛知県・三重県

中部経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒460-8510 名古屋市中区三の丸2-5-2

☎ 052-951-2775

福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒540-8535 大阪市中央区大手前1-5-4 4

☎ 06-6966-6043

鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当
〒730-8531 広島市中区上八丁堀6-3 0広島合同庁舎2号館

☎ 082-224-5818

徳島県・香川県・愛媛県・高知県

四国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒760-8512 高松市サンポート3番33号高松サンポート合同庁舎5～7F

☎ 087-811-8535

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県

九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2-1-1-1

☎ 092-482-5475

沖縄県

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー対策課
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号那覇第二地方合同庁舎2号館

☎ 098-866-1759

